

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	島根県高津川産アユに寄生していたチョウモドキ <短報>
Author(s)	長澤, 和也; 森川, 学
Citation	ホシザキグリーン財団研究報告 , 22 : 214 - 214
Issue Date	2019-03
DOI	
Self DOI	
URL	http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046743
Right	
Relation	



短 報

鳥根県高津川産アユに寄生していたチョウモドキ*

長澤和也・森川 学

Argulus coregoni (Branchiura: Argulidae) parasitic on ayu, *Plecoglossus altivelis altivelis*, in the Takatsu River, Shimane Prefecture, Japan

Kazuya NAGASAWA and Manabu MORIKAWA

Abstract An adult female of the argulid branchurian *Argulus coregoni* Thorell, 1864 was collected from the body surface of ayu, *Plecoglossus altivelis altivelis*, in the Takatsu River, Shimane Prefecture, Japan in September 2011. This is the first record of *A. coregoni* from ayu in Shimane Prefecture.

チョウモドキ *Argulus coregoni* Thorell, 1864 はチョウモドキ科に属するエラオ類の 1 種で、わが国では数種のサケ科魚類やアユ *Plecoglossus altivelis altivelis* (アユ科)、まれに他科の淡水魚類に寄生する (例えば長澤, 2009; Nagasawa, 2011). 本種は、鳥根県では高津川水系のゴギ *Salvelinus leucomaenis imbricus*, ヤマメ *Oncorhynchus masou masou*, アマゴ *O. masou ishikawae* (サケ科魚類), イシドンコ *Odontobutis hikimius* (ドンコ科) から記録がある (Nagasawa and Kawai, 2008; Nagasawa *et al.*, 2014; 長澤・河合, 2016). 今回、筆者らは高津川本流 (鳥根県津和野町左鏡, 34°29'34" N, 131°52'27" E) で釣獲したアユの体表からチョウモドキ (図 1) を採取したので、鳥根県産アユからの初記録として報告する。

2011 年 9 月 24 日、高津川において友釣りアユを漁獲した際、1 尾 (魚体長不明) の体表にチョウモドキの寄生を認め、指で体表から採取後、70% エタノール液で固定した。この標本は後日、広島大学にて観察・同定された。採取されたのは雌成体 1 個体で、全長 8.9 mm, 最大体幅 4.8 mm で、卵巣に卵を有していた。

最近、筆者らは本州中央部 (岐阜・愛知・三重・滋賀県) の河川アユにチョウモドキが寄生することを報告した (Nagasawa *et al.*, 2018). 今回の高津

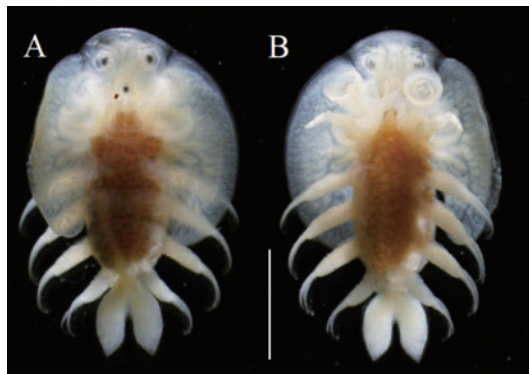


図 1 高津川産アユの体表から得られたチョウモドキ雌成体。エタノール保存標本 (A, 背面; B, 腹面)。スケールは 3 mm.

Fig. 1. An adult female of *Argulus coregoni*, NSMT-Cr 25863, from the body surface of ayu, *Plecoglossus altivelis altivelis*, in the Takatsu River, Shimane Prefecture, Japan. Ethanol-preserved specimen (A, dorsal view; B, ventral view). Scale bar: 3 mm.

川産アユにおける寄生例は、本州西部のアユにもチョウモドキの寄生が及んでいることを示すかもしれない。今後は他水系のアユにおけるチョウモドキの寄生状況を調べることが必要であろう。

チョウモドキ標本は、国立科学博物館の甲殻類コレクションに収蔵されている (NSMT-Cr 25863).

謝辞: 本研究はホシザキグリーン財団から支援を受けて行われた。記して感謝する。

【文献】

長澤和也 (2009) 日本生物地理学会会報, **64**: 135-148.

Nagasawa, K. (2011) *Crust. Monogr.*, **15**: 15-21.

Nagasawa, K. and K. Kawai (2008) *J. Grad. Sch. Biosp. Sci., Hiroshima Univ.*, **47**: 23-28.

長澤和也・河合幸一郎 (2016) ホシザキグリーン財団研究報告, (19): 4.

Nagasawa, K., T. Kuwabara and H. Nakano (2014) *Biosphere Sci.*, **53**: 33-36.

Nagasawa, K., M. Morikawa and T. Yoshioka (2018) *Biogeography*, **20**: 125-127.

(長澤: 広島大学大学院生物圏科学研究科/水族寄生虫研究室)

(森川: 三重県北牟婁郡紀北町東長島 488-1)

*ホシザキグリーン財団委託業績 第 131 号